

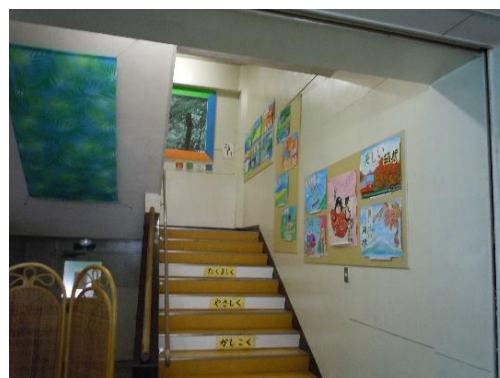
# はにい

## 学校全体を表現の場に

平成28年9月29日

「小規模の学校なのでお互いをよく知っているから、まわりの友達に自分を表現する必要がなくなっている。もっと自分を出せる子になってほしい。」先生方の願いから、この学校では、校舎全体が児童の表現に満ちあふれています。

学校の玄関を入ると、正面が階段です。壁には展示用ボードが付けられ、児童の作品が展示されています。誘われるように階段を上がると、踊り場にある窓も縁取られ「四季の窓」という天然の展示物になっています。



さらに児童の表現は続きます。階段を登り切ったところで、図書室の前には大きな壁画があります。外部ボランティアが飾りつけ、おとぎばなしの家にしてくれました。この家の屋根に使われているのは個性的な児童の作品の数々。

各教室前の壁にも学習の成果物が掲示されています。授業が終わり、児童が廊下に出てきます。作品を見ている私たちを少し離れてチラチラ見えています。



「みんなの作品すばらしいね」と話しかけると、笑顔で校庭に向かって行きました。

これから全校児童が校庭に集い、外部講師を招いてダンスの授業。少しはずかしがりながらも、リズムに合わせて大きく体を動かし表現します。